

上野市駅前地区 第一種市街地再開発事業 ハイトピア伊賀

「うえのまち」を生かす
くらしとにぎわいのまちづくり



平成26年3月
三重県伊賀市

ごあいさつ

本市では、平成20年11月に、「うへのまち」を生かす“くらしとにぎわいのまちづくり”を基本理念とした「伊賀市中心市街地活性化基本計画」を策定し、本市のもつ歴史的・文化的な地域特性を生かした、住みよい、にぎわいと魅力のある中心市街地の形成を目指して官民が一体となった取り組みを進めています。

その中で、中心市街地活性化を先導するとともに、本市の玄関口における新たな顔づくりと位置づけ実施してまいりました上野市駅前地区第一種市街地再開発事業が平成25年度末をもって完了いたしました。

この完了をむかえることができましたのは、権利者をはじめとする市民の皆様並びに市関係団体等のご理解とご協力、また、国、県等関係機関のご支援とご指導の賜物と心から厚くお礼申し上げます。

当地区の施設建築物「ハイトピア伊賀」は、保健センター、生涯学習センター等の公共公益機能に加え、伊賀の魅力にあふれた集客性を意図した商業テナントや商工会議所、銀行等による商業・地域振興機能を併せ持つ複合ビルです。

また、リニューアルしました駅前広場には、ハイトピア伊賀の利便性を高める市営駐車場のほか、様々なイベントにもご利用いただける多目的広場を新たに整備し、市民の皆様が多様なニーズに応えるとともに、観光客等も含め多くの方が集い、交流できる中心市街地のにぎわい拠点の役割を担っています。

今後は、このにぎわい拠点が持つ求心力、情報発信力といったポテンシャルをさらに活かし、本市の各地域とも連携、交流を深めつつ、中心市街地活性化の基本方針である、歴史のたたずまいの中「歩くまち」、人が集まりにぎわう「元気なまち」、安心して豊かに暮らせる「生きるまち」の実現に向け、引き続き市民の皆様と共に取り組んでまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成26年3月
伊賀市長
岡本 栄



伊賀市の概要

伊賀流忍術発祥の地、また、松尾芭蕉翁生誕の地として知られる伊賀市は、平成16年11月に、旧上野市・伊賀町・島ヶ原村・阿山町・大山田村・青山町の6市町村の合併により誕生しました。

地理的には、三重県の北西部に位置し、北は滋賀県、西は京都府、奈良県と接しており、近畿圏、中部圏の2大都市圏のほぼ中間、いずれからも約1時間の距離にあります。また、古来より都（飛鳥、奈良、京都など）に隣接する交通の要衝であり、江戸期には藤堂家の城下町として、また、伊勢神宮への参宮者の宿場町として栄えてきました。

このような地理的・歴史的背景から、京・大和文化の影響を強く受けながらも独自の文化を醸成しており、9基の「だんじり」と百数十体からなる鬼行列がまちなかを練り歩く上野天神祭は、国指定重要無形民俗文化財として、約400年の歴史を誇っています。また、上野城を中心に碁盤目状に整備された城下町は、戦災を免れたことも幸いし、現在も武家屋敷や商家等の町並みが色濃く残っています。

産業としては、国指定伝統的工芸品の「伊賀くみひも」、「伊賀焼」の生産地として知られており、伊賀米、伊賀牛、伊賀酒といった「伊賀ブランド」にも力を入れています。



●上野城（ハイトピア伊賀から）



●寺町通りのまち並み



●上野天神祭 だんじり

上野市駅前地区の状況

伊賀鉄道（旧近畿日本鉄道伊賀線）の上野市駅前に位置する当地区は、鉄道、バス等の公共交通の結節点であり、かつては伊賀地域の中心商業地域として、活気とにぎわいにあふれる地区でした。

しかし、モータリゼーションの進展や郊外への大型商業施設の進出が進むなか、交通拠点・商業拠点としての求心力が低下するとともに、駅前広場や道路などの整備が不十分なままとなりました。

さらに、地区内の居住人口が著しく減少するとともに、老朽化した鉄筋コンクリート造の建物が地区の過半を占めており、土地利用の状況が不健全かつ個別の更新等が困難な状況であったことから、都市機能の早急な更新とにぎわいの再生が求められていました。



事業の経緯

昭和60年に当時の上野市が策定した市街地整備基本構想において、本地区において交通機能拠点の役割とともに、都市の多面的な機能を結合させる地区として再開発の必要性が示されました。それとともに、地元においても再開発への関心が高まり、行政とともに意向調査や構想の検討が行われ、平成7年度から事業化のための具体的な調査を行うに至りましたが、先行すべき市の大型プロジェクトの存在や経済情勢の変化等により、計画の再検討を行うこととなりました。

その後、事業区域や導入施設の見直しを行い、平成16年5月には、地元において再開発協議会が結成され、事業実施に向けた意見交換や合意形成に取り組み、平成16年11月の伊賀市の誕生を経て、平成17年8月に都市計画を決定するに至りました。

